



森脇 徹 議員

中学校部活の地域移行は
子どもの新たな可能性を
含んで進んでいくか

問

地域移行は、どのよう
に子ども
本位で進むのか

答

子どもたちにとって望ましい移行ができるよう、協議会で丁寧に協議してまいります

問 休日の学校部活動から地域クラブ活動への移行について、教育委員会はどのような方向性を持っているか。活動場所や予算の確保等が必要と考えるか。

答 教育総務部長

少子化が進展する中、学校部活動を従前と同様の体制で運営することが困難になってきていること、また、教員が顧問を務める指導体制を継続することは、学校の働き方改革が進む中で一層厳しくなることから、生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現する

ためには、学校と地域との連携・協働により持続可能な活動環境を整備することは必要と考えております。

問

外部指導者と学校教師が一緒に指導できるシステムができれば、生徒も保護者も安心できる。移行後も学校教育の一環として位置づけて、持続可能な活動を追求できるのではないか。

答 教育指導部長

スポーツ庁等のガイドラインでは、地域クラブ活動は、学校教育ではなく社会教育

問

の二環となります。教員が地域クラブ活動で指導する場合は、地域の指導員として指導することになります。

問

学校教育でなく、地域の活動・社会教育と位置付けることになれば、生徒や保護者・教員がその認識の切り替えに相当な時間を要する。子ども本位に、どのように移行していきけるか。

答 教育指導部長

子どもたちや関係者にとって望ましい移行ができるよう、協議会において課題を整理し

ながら、地域移行の在り方を丁寧に協議してまいります。

問

地域移行で経済格差が発生しないかと保護者が心配されている。施設利用料・活動参加費等、新たな負担が発生しないよう協議会で検討されるか。

答 教育総務部長

ガイドラインでは、学校・行政・関係団体による協議会において、学校施設の利用・学外施設利用負担軽減や利用しやすい環境づくりなど、地域クラブ活動のルール等を策定することになっています。今後のスポーツ・文化芸術環境の在り方等も協議してまいります。

その他の質問

○身寄りがなくても安心して暮らせる高島市に
○山の境界分らない放置林でなく、利活用で活きる高島林業に